

11月11日～12月12日  
電池月間

電池の日

11月11日

+ -

12月12日

バッテリーの日

でんち

平成13年11月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

社団法人 電池工業会

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8

機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail. bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

## 平成13年度 第3回一次電池部会開催

平成13年10月17日、機械振興会館において、白石部会長（松下電池工業（株））を議長に、平成13年度第3回一次電池部会（出席者24名）が開催された。

冒頭に白石部会長からの挨拶と、新任の桜井（三洋電機）、加納（東芝電池）、須藤（東洋高砂乾電池）各委員から挨拶があった。続いて、事務局から最近の一次電池を中心とした生産販売状況の報告があり、その後、9委員会の活動報告が行われ、一部の取組み内容に変更を加えて承認された。

### 1.海外関係情報

ボタン電池およびコイン形電池の誤飲事故に関する報告と、米国一次電池工業会からの要請について報告があった。協議の結果、問題例3件の確認をすることとなった。①予防対策費用の内訳。②欧州など他の地域への影響。③日本以外から米国への輸出状況。

### 2.技術委員会報告

ボタン電池の水銀添加量削減の取組みについて、水銀使用量（メーカ各社の申告合計量）がこの2年で半減した内容の報告があった。

### 3.PL委員会報告

フジテレビで放映された番組「目からうろこ」での電池特集のビデオ紹介を中心に報告があった。特に漏液再現実験と化学やけどの現象が注視され、今後、本ビデオを啓蒙活動に使用して行くことが提案された。

### 4.業務委員会報告

業務委員会と調査統計小委員会の業務を分析し、可能ならば統合を検討する旨の報告があった。

### 5.広報委員会報告

上期に実施した広報活動について報告があった。



特に改訂版「WE LOVE DENCHI」については、掲載されている写真を公平性の観点からイラストにした方が良い等の意見が出され、次回の会議で検討案を提示することになった。

また、各部会の広報委員会を総合広報委員会に統合し、各部会から独立する旨の提案が出され承認された。

### 6.器具委員会報告

新たな技術・業務総合の体制で活動を始めた委員会活動内容と携帯電灯・電池器具の販売動向の報告があった。

### 7.循環技術委員会報告

乾電池処理実験の結果と今後の取組みについて報告があった。

### 8.資材委員会報告

グリーン調達を中心に取組み状況の説明と、今後グリーン調達について各社毎に推進して行く考えが説明された。その他、乾電池回収問題について経済産業省と意見交換した内容や、拡大生産者責任に関するOECDガイドスマニュアル内容、およびグリーン調達品目への提案内容と今後の対応策、その他最近の主要な環境関係の動向について報告された。

# オータム・イベントで広報活動

秋はイベントの花盛り、電池工業会も首都圏を中心とした各種イベント、展示会に参画し、一般消費者をターゲットに「電池の正しい上手な使い方」、「破裂防止の液面点検」、「小形二次電池回収リサイクル」、「早めのバッテリー交換PRキャンペーン」、「21世紀 充電式電池どんどんリサイクルキャンペーン」などを主要テーマとした広報活動に、広報委員会、関連委員会、工業会事務局、再資源化推進センターなど総動員で展開してきた。



●自動車点検フェスティバル  
10/6~7 千葉県市川市  
主催：国土交通省  
活動：二次PL、技術サービス



●交通安全フェア  
9/22~23 東京ドームシティ  
主催：内閣府  
活動：二次電池広報



●プラモデル・ラジコンショー  
10/11~14 幕張メッセ  
主催：日本プラモデル工業協同組合  
活動：小形二次広報



●CEATEC JAPAN  
10/2~6 幕張メッセ  
主催：CIAJ、JEITA、JPSA  
活動：広報総合



●東京モーターショー  
10/24~11/7 幕張メッセ  
主催：社団法人 自動車工業振興会  
活動：二次広報、PL、リサイクル(分)、  
技術サービス(小)



#### ●環境博覧会すぎなみ2001

10／27～28 高井戸地域区民センター  
主催：杉並区  
活動：推進センター、一次広報



#### ●リサイクルフェスタ横浜2001

10／20～21 パシフィコ横浜展示ホール  
主催：横浜市  
活動：推進センター

## 蓄電池設備整備資格者

### 講習修了考查合格者

#### 大阪会場分

電池工業会は、9月26日27日大阪府で、10月16日17日香川県で開催した、蓄電池設備整備資格者講習の修了考查に合格した者の氏名を発表した。

合格者（合格率）は、大阪155名（85.2%）、香川47名（97.9%）であり、合格通知は直接本人に通知される。

#### <大阪府>

見神幸則、飯尾勝毅、櫻井康勝、三島 充、外山慎一、菖蒲谷 登、石田賢二、根崎四郎、沖波 篤、和田裕二、別宮仁明、村本 章、青野伸生、河内真人、石倉貴司、高橋正光、泉 隆男、樋口眞己、米良慶弘、瀬川貢一、山本晴久、志場 修、新納康彦、浦 真、吉竹信博、西 功一、港谷幸策、満嶌章浩、大槻義明、早川英樹、今村義弘、小松智晴、三代祐一朗、山下政男、竹山哲哉、山口啓一、西村次男、大垣正義、上田 実、谷所 基、若林留雄、越智昭博、岡 憲宏、藤本敏明、辻本吉宏、山王光夫、北村一夫、柴尾正次、向 勝敏、石割広明、西川貴生、高江洲義政、清水 薫、秋田 昇、廣島一弘、今中広介、前川典央、森下喜与志、菅森保司、辻井秀夫、小林重夫、竹岡伸雄、市村将吾、葛原英之、塙見武信、中川博司、杉本裕司、渡辺 勉、歌野利治、岡崎 潮、小坂忠宏、高橋勇樹、井上浩士、太田 太、山下清親、松浦仙享、野村好哉、宍野高則、三好正明、中川烈光、馳 利彦、田村竜彦、近藤秀仁、井関敏三、山本直樹、津田貞雄、佐々木 猛、石川慎太郎、大村勝彦、加藤幸二、牧田正信、伊藤 茂、岡崎隆弥、青木 孝、岡部春志、小畠慎二、中地貴久、田中準二、池原洋実、田中健一、北所政幸、網干和人、宮田正雄、黒岩 明、宮川良二、高塚直洋、廣田和弘、原田章伸、

森重和彦、村上 博、武田和士、柚木 忠、川野雅三、石井政之、西 豊治、村田喜弘、後藤和幸、山口 満、坂口貴一、小西弘通、野崎 勝、曾江秀希、岡部知幸、南畠一郎、二神篤志、村本順俊、五十里儀隆、上野和久、栗原良介、安田明生、紀 光洋、坂野浩司、藤森道晴、川井洋一、小椎八重 勝、内山健二、稻垣雅一、上田光彦、植松 登、岡本克己、山田智規、平野 勉、福島 荣、野嶋健之、荒内康彦、細渕多佳夫、磯部大平、桜井正昭、吉住敏雄、長島敏夫、安藤貴弘、常松健司、石川和伯、佐藤雅晴、坂 仁志。

#### <香川県>

徳増崇臣、三井 勤、平井耕二、柳田祐重、郷田昌三、伊良皆 榮、西村 弘、津島進一、津島浩一朗、稲田 博、池北博行、上村憲生、坂口明久、中塚博紀、三木祥弘、土井池忠義、高橋和孝、土居 肇、長尾充容、吉田誠治、山口正起、渡辺真哉、門田 実、田村克孔、佐野浩二、福島 学、福島桂子、福島孝根、柏野寛人、三宅良治、中津昭二、中西宏彰、新名 透、森 清明、鎌野正己、岡本隆彦、塙見賢次、高橋良幸、大塚 学、村岡真一、奥山勇治、南谷秀雄、蜜石昭男、菊川卓也、荒川拓也、芝池貴司、藤田栄一。

# 秋の褒章 田中千秋副会長 晴れの受章

政府は「文化の日」の3日付けで、平成13年秋の国家褒章受章者を発表した。

今回の経済産業省関係では、公衆の利益に功績著しい人に贈られる藍綬褒章に、電池工業会副会長である田中千秋氏（日本電池（株）社長）がめでたく受章された。



## 業界動向

\*宮田自転車工業 7月のスポーツタイプの発売に続き、9月に高齢者向けの電動アシスト自転車を発売、この物の拡販を本格化させる。  
(9月3日付 日経産業)

\*パーソナルロボット（パソロボ） 家庭、公共施設での利用を狙ったパソロボの普及に向けた動きが活発化して来ている。製造業分野での需要が頭打ちにあるロボット市場の拡大につながりそう。(9月6日付 日経&日刊工業)

\*トヨタ自動車 ハイブリッド車（HEV）事業の拡大に向けたプロジェクトチームを発足させた。当該チームではエンジンを始めとするグループ挙げての戦略立案の取り組みを行う。  
(9月5日付 日刊工業)

\*ソニーマーケッティング ベット型ロボット「AIBO」の新シリーズ2機種（小熊型）を、女性、高齢者をターゲットに9月22日から発売。  
(9月5日付 日経)

\*三洋電機 スリムなボディーと本格的な切れ味のヘアカッターを10月1日から発売する。電源は充電・交流両用タイプ。  
(9月5日付 電波)

\*松下電工 肌にやさしい直径0.1mmの微細な泡で肌の潤いをキープする泡立て洗浄セット4機種を9月1日から発売する。電源は単二形アルカリ乾電池二本。  
(9月5日付 電波)

\*環境省 神戸市のポートアイランド地区に建設中の「生ごみバイオガス化燃料電池発電施設」がこの程完成、9月10日から試運転を開始へ。  
(9月6日付 化学工業日報)

\*積水化学工業 産業技術総合研究所、千葉工業大学と共同で、耐熱性を三倍に高めた燃料電池用の電解質膜を開発中。事業化を目指し更なる改良を加速へ。  
(9月6日付 日経産業)

\*松下電池工業 自転車のハンドルに簡単に取り付け取り外しが出来る乾電池式サイクルスポーツライトを10月1日から発売する。尚、電池は単二形乾電池二本。  
(9月7日付 電波)

\*日立マクセル 中国・無錫市に電池の新工場を建設中である事を発表。アルカリ乾電池と小型リチウムイオン電池の増産が狙い。  
(9月7日付 日刊工業)

\*ナショナル自転車工業 電動アシスト自転車の海外販売を米国で10月から開始、三年後を目処に5万台以上の販売を目指す。  
(9月8日付 日経)

\*環境省 「PRTR制度」への理解が進んでいるのか否か、環境省が2000年度に実施した調査ではよく理解できたが2割止まりで、理解が今ひとつとの結果が確認された。  
(9月10日付 化学工業日報)

\*ハイブリッド車（HEV） HEVの市場が拡大期を迎える。拡大の理由は環境意識の高い消費者向けのニッチ商品から、ガソリン代の安さ等の経済性が評価され始めた事に起因しているようである。  
(9月11日付 日経)

\*日産自動車 他社に先駆け2002年度を目処に、廃車リサイクル率95%が実現できる新車を市場投入へ。  
(9月11日付 日刊工業)

\*松下電池工業 高性能ニッケル水素電池と急速充電器をセットにしたバッケージを9月15日から発売する。尚、急速充電器は4本使用時で200分、2本で100分の高速充電を実現している。  
(9月11日付 電波)

\*日立マクセル エナジーソリューション事業グループを担当の千歳取締役、电池事業を世界に拡大する事、PDA用電池の需要開拓に更なる注力をする事等を語る。  
(9月11日付 電波)

\*富士通グループ 二足歩行の小型ロボット（小型ヒューマノイドロボット）を開発、大学等の研究部門を対象に、受注活動の開始を予定中。  
(9月12日付 日経産業&電波)

\*松下電器産業&松下電池工業 松下電器の「手軽に家事家電」商品の一つであるソフトアイロン、電気バケツ、浴槽みがき機等がヒット中。  
(9月12日付 電波)

\*川崎製鉄 メソカーボンマイクロビーズを使った負極材が340mAh/gの性能を出す事に成功、大手電池メーカーに採用された。同社ではこれをきっかけとし、5年後にはシェアの倍増を目指しリチウムイオン電池用負極材で攻勢をかける予定。  
(9月12日付 化学工業日報)

\*三洋電機 大容量64MBフラッシュメモリーを内蔵し、WMA・MP3・AACの圧縮方式に対応した携帯型メモリープレーヤーを、10月21日から発売する。  
(9月13日付 電波)

\*東洋紡 電池内温度の上昇があつても親水性の壊れにくい耐久性に優れたニッケル水素電池用セバレーーターを開発、来年を目処に事業化へ。  
(9月13日付 日経産業)

\*東邦亜鉛 電解鉄や使用済み乾電池のリサイクルなど非精鍊部門を強化、2005年度には精鍊部門との2本柱にする旨を発表。  
(9月13日付 日経産業)

\*三菱重工業 高分子膜以外は全て自社技術を使った固体高分子型燃料電池〔メタノールタイプ〕を開発、自動車走行に成功した。尚、同社では今後の実用化については、自動車よりは家庭用が先と同社は判断中で、ダイムラー・ベンツ（独）と連携して定置型の開発に乗り出す予定。  
(9月14日付 日刊工業)

\*ソニーマーケッティング 10月10日から発売のDVCで、PCなしで動画送信が出来る新しい楽しみ方を前面に打ち出す。新規需要を創造へ。  
(9月15日付 電波)

\*日立製作所 DVDタイプを中心に商品を充実し海外でも本格販売を行ない、ビデオカメラ事業の拡大を予定中。  
(9月17日付 電波)

\*三洋電機 デジカメの普及に伴い、市販ニッケル水素電池の拡販を強化、秋一年末商戦でキャンペーン展開を実施へ。  
(9月17日付 電波)

\*富士重工業 研究用の小型移動ロボットを開発した。知能ロボットの研究促進の為、研究機関等への無償供与を予定中。  
(9月19日付 日刊工業)

\*広島県立大学 ビタミンCを皮膚表面から内部へ効率よく浸透させる技術を開発した。技術のポイントは、ビタミンC前駆体を使い微弱な電流を皮膚表面に流す事で対処した点にある。  
(9月18日付 日経産業&日刊工業)

\*松下電器産業 ウェアラブルをコンセプトに世界最小・最軽量のSDオーディオプレーヤーを開発、11月10日から発売する。電源は、アルカリ電池、ニッケル水素電池の単4サイズ品の併用で一本使用。  
(9月19日付 朝日)

\*ソニー・フロンティアサイエンス研究所 ナノテクノロジー分野の代表的新素材である炭素分子「フラーレン」を使用した燃料電池を開発した。携帯端末等への利用を考慮中。  
(9月20日付 日経産業)

\*コナミ アルコールとタバコに強く反応するにおいセンサーを搭載した、遊びながら口臭チェックができる携帯ゲーム機を開発した。9月20日から発売へ。  
(9月20日付 電波)

\*日立工機 今春発売したプロ向けコードレスドライバーが、月産1万2000台ベースで好調に生産を継続中。  
(9月20日付 日刊工業)

\*松下電器工業＆松下電池工業 乾電池購入者を対象に、世界初の対話型ロボットが当たるキャンペーンを10月から開始する。  
(9月21日付 電波)

\*経済産業省 精鍊技術・精鍊施設を有効活用し、車シミュレータースタジオから銅、鉛、亜鉛を同時に分離・回収するリサイクル技術の開発を来年度から2年計画で行う旨を発表。  
(9月21日付 化学工業日報)

\*小型燃料電池 燃料電池を、携帯電話、ノートPC等の小型・薄型化した携帯機器の電源に使う研究が、日米の企業で進んでいる。自動車や家庭向けの電源として注目されているが、携帯機器と言う意外な所から実用化が進む可能性がありそう。  
(9月21日付 日経)

\*マイクロフェュエルセルシステムズ社（米） 米航空宇宙局（NASA）が中心になり開発した小型燃料電池の実用化を目指し、日本で提携先企業の募集を開始した。尚、当社は米航空宇宙局（NASA）の技術移転会社。  
(9月23日付 日経)

\*東芝 8月に投入したPDAの販売が好調、下位機種で店頭価格7万円前後とPDA市場では高価格機種になるが、使い勝手の良さと小型化がビジネスマンに受け入れられ1万台・月の当初見込みを上回るペースで生産が推移中。  
(9月25日付 日経産業)

\*日立製作所 ダイレクトメタノールFCを試作中。開発には日立マクセル等のグループ会社が参加したプロジェクトチームで行われていて、FC市場に本格参入する体制を整えられつつある。  
(9月26日付 日経産業)

\*日本重化学工業 コア事業に位置する機能材料部門を強化し、水素吸蔵合金や同合金を活用した応用システムを拡販へ。  
(9月26日付 日刊工業)

\*松下電池工業 業界最高水準を実現したカメラ用リチウム電池3品種（CR-P2、2CR5、CR123A）を10月1日から発売する。  
(9月27日付 電波&日刊工業)

\*ソニー 液晶ディスプレー部分とプレーヤー部を独立させた新形態の携帯型DVDプレーヤーを11月21日から発売する。  
(9月28日付 日経&日経産業)

\*東芝＆インターナショナルフェュエルセル（米） 定置型の固体高分子型燃料電池（PFBC）の技術開示戦略を打ち出す。これにより、この物の量産と普及の加速を狙う。  
(9月28日付 日刊工業)

\*三洋電機 高画質化と低価格化の二極化志向に対応した、動画デジタルカメラ2機種を11月中に発売する。一層のシェアの拡大を狙う。  
(9月28日付 電波、日経産業&日刊工業)

\*ソニー こだわりのラジオ事業を拡大、100機種を超える品揃えに加え10月10日からは、新たに充電式通勤用ラジオを発売する。電池はニッケル水素電池単4形1本使用。  
(9月29日付 電波)

# 平成13年 10月度の電池工業会活動概要

部会	10月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議その他	2日～6日	CEATEC JAPAN 2001	*小形二次電池回収リサイクルを中心とした展示広報
	6日～7日	自動車点検フェスティバル	*バッテリー液面点検、早めの交換PRキャンペーンを展開
	6日～7日	グリーン＆グリーンエア（徳島）	*小形二次電池回収リサイクルPR
	11日～14日	プラモデル・ラジコンショー	*一次電池の正しい使い方と、小形二次電池回収リサイクルPR
	12日（金）	電動車用蓄電池標準化委員会	*JIS2件、SBA2件を審議、指摘事項修正を条件に承認
	20日～21日	リサイクルフェスタ横浜	*小形二次電池回収リサイクルを中心とした展示広報
	19日（金）	広報総合委員会	*電池月間の展示会イベント等準備審議
	23日（火）	JIS原案作成委員会	*「アルカリ一次電池」のJIS改正の審議
	23日（火）	国際規格回答原案作成委員会	*TC35「一次電池」現在文書審議中の標準、規定についての報告および説明
	24日～11月7日	東京モーターショー	*バッテリー液面点検、早めの交換PRキャンペーンを展開
	25日（木）	第3回環境総合委員会	*グリーン調達提案品目の判断基準などを検討する委員会を鉛5社で開催する
	30日（火）	JIS原案作成委員会	*「密閉形ニッケル水素蓄電池」のJIS改正の審議
二次電池部会	3日（水）	自動車用電池委員会	*自動車用電池リサイクルスキームについて審議
	4日（木）	二次リサイクル拡大事務局会議	*産業用電池リサイクルスキームについて審議
	5日（金）	用語分科会	*電池用語に関するIEC国際規格案の各國コメントに対する日本意見
	9日（火）	小形鉛分科会	*標準化委員会用資料（JIS3件、SBA1件）、IEC国際規格に関する各國コメント
	12日（金）	自動車用電池需要予測小委員会	*7～9月の実績確認と検討
	15日（月）	自動車鉛分科会	*JIS（二輪自動車用鉛蓄電池）の改正案。
	17日（水）	据置鉛分科会	*標準化委員会用資料（JIS1件、SBA2件）。制御弁式電池の劣化診断検討
	17日（水）	電気車統計分科会	*7～9月の実績確認と検討
	18日（木）	電気車鉛分科会	*標準化委員会（12日）での指摘事項についての回答
	19日（金）	据置アルカリ分科会	*標準化委員会用資料（JIS改正案1件、SBA改正案1件）
	19日（金）	広報委員会	*各種展示会、イベントの準備
	19日（金）	自動車用電池リサイクル委員会	*自動車用電池リサイクルスキームについて審議
	24日（水）	資材委員会	*新リサイクルスキーム等の打合せ
	24日（水）	産業用電池統計分科会	*7～9月の実績確認と検討
	26日（木）	自動車用電池技術サービス小委員会	*新品及び使用済み電池の極板写真
	29日（月）	EVリチウム分科会	*電気自動車用リチウムイオン電池規格案
小形二次電池部会	5日（金）	再資源化委員会アルカリ分科会	*大口ユーチューラートの取組み、今後の活動方向の検討
	10日（水）	リチウム2次分科会	*IEC「総合安全規格」「メカニカルテスト」の内容審議
	17日（水）	小形シール鉛分科会	*JIS改正案、IEC規格等の審議
	19日（金）	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC規格の継続審議とJISC8708ニッケル水素原案改正審議
	24日（水）	再資源化委員会	*産構審ガイドラインの回収率目標設定の対応、今後の活動方針の検討
	26日（金）	業務委員会	*9月度出荷実績の検討、2001～2003年度の需要予測
一次電池部会	3日（水）	循環技術委員会	*12月に東邦亜鉛（株）、来年度野村興産を見学する。
	11日（土）	環境対応委員会	*11月6日に臨時委員会を開催し再資源化の課題をスタディする
	16日（火）	一次電池技術委員会	小委員会報告、JIS改正案審議説明、平成14年度のJIS公募内容の検討
	17日（水）	第3回一次電池部会	*パンフレット「WE LOVE DENNCHI」改訂版の内容再検討
	19日（金）	広報委員会	*中央協同募金会への対応等を確認
	23日（火）	JIS小委員会	*「アルカリ一次電池」「電解二酸化マンガン」改正の審議
	23日（火）	IEC小委員会	*IEC国際規格対応を審議、Li-WGにて「Li電池の国連輸送規格」ガイドブックの審議

# 小形二次電池再資源化推進センター便り

## 小形二次電池の回収状況(9月末現在)

	ニカド電池	ニッケル水素	リチウムイオン	小形シール鉛
本年度回収目標量	700t	100t	300t	30t
9月度単月実績	40.857t	2.264t	26.013t	0.997t
年度累計実績	271.068t	22.910t	140.571t	13.477t
達成率	39%	23%	47%	45%

## .....新製品ニュース.....

### 環境対応商品シリーズ第5弾

### 環境配慮型高性能自動車用バッテリー「ECO.Rシリーズ」を新発売

日本電池株式会社(社長 田中千秋)では、高性能自動車用バッテリー「ECO.R(エコアール)シリーズ」5形式10タイプを10月下旬から発売いたします。

本製品は、バッテリーの主要部材である”鉛”や”樹脂(ポリプロピレン)”に使用済電池から再生した部材を使用し、環境負荷を減らす一方で、弊社の新技術を投入した「環境配慮型自動車用バッテリー」です。

近年、世界的な環境運動の高まりにより、国内においても資源循環型社会の実現を目指した環境関連立法など、環境に対する関心や取り組みが飛躍的に高まっております。弊社としても、数年前より使用済電池の回収システムを構築し、市場からの回収促進、および当社製品への再生鉛使用率を高めてまいりました(現在、使用済電池の回収率は100%近くにまで達しています)。

このような状況のなか、弊社では2000年4月より循環型自動車用バッテリーとして、主要部材に可能な限り再生品を使用した「GSRシリーズ」を発売し、好評を得ております。

今回発売の「ECO.Rシリーズ」は、従来の「GSRシリーズ」の思想を一步進め、さらなる高性能と対応車種の拡大を図っております。

※製品名の「ECO.R」とは…ECO(ECOLOGY 環境)+R(Rebirth 生まれ変わる)を意味しています

#### [特長]

##### 1.再生部材の使用

鉛部材には再生鉛、樹脂部分(電槽・ふた・液栓)には再生樹脂(100%)をそれぞれ使用しています。いずれも非再生樹脂と同等の品質を実現しているため、安心してご利用いただける内容です

##### 2.新開発Zi-Xグリッドの採用(十板)

従来のエキスパンド式グリッドの弱点を改善した新開発Zi-Xグリッド(十板)の採用により長寿命(弊社標準品比145%:50B24、軽負荷寿命)と高い始動性能を実現しています

##### 3.サイズ種類の拡大

従来のGSRシリーズでは対応できなかった、Dサイズ(大型乗用車系)の2形式をラインナップに追加しています

##### 4.高メンテナンスフリー性を実現

カルシウムエレメント構成により、減液特性が25%、自己放電特性が60%それぞれ向上し、高メンテナンスフリー性を実現しています(向上%は弊社従来品ハイブリッド品比)

##### 5.全機種にインジケータを採用した親切設計



# 新製品ニュース

## スポーツライト"クリプトンアーク"を発売 お求めやすい普及価格

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、自転車のハンドルに簡単に取り付け・取り外しができる乾電池式サイクルスポーツライト「クリプトンアーク」を10月1日から、普及価格で発売します。

本製品は、スポーツ車から一般車までフィットする流線型デザインで、ワイドな照射光はもとより横からも光が見えて周囲に存在をアピールすることができます。これにより、当社は従来からのスポーツライトと合わせ、幅広い商品陣容で販売を強化していきます。

### [特長] .....

#### 1.ワイドな照射光設計

光軸をさげ上面への余分な光をカットし、走行路面をより広範囲に明るく照らします

#### 2.さらに安心な横方向への光

自転車の横方向への光で、自動車などに走行・存在をアピールできます

#### 3.シャープでおしゃれなデザイン

シンプルでスピード感あふれるデザインで一般車やスポーツ自転車によくマッチします。

#### 4.ライト部は着脱

ボタンを押してスライドさせるだけでカンタンに着脱でき、ハンディライトとしても使用できます

使用電池：単2形乾電池2個



## デジタルスチルカメラ用リチウム電池 (10月25日 新発売)

日立マクセル(株)(社長 赤井紀男)は、高容量で優れた重負荷放電特性を有するリチウム電池(CR-V3)を10月25日から発売します。

### [特長] .....

#### 1.高容量で優れた重負荷放電性能を発揮。デジタルスチルカメラに最適です!

平均容量は3000mAhと高容量で、3Wの超重負荷放電でニッケル水素電池※の約2倍の性能を有しています

※(当社ニッケル水素電池1600タイプ比較)

シャッターチャンスを逃さず、撮影後の画像確認で瞬時に大電流が必要な場合にも威力を発揮します

#### 2.優れた低温放電性能!

寒冷地への旅行やスキー場でのデジタルスチルカメラ撮影に威力を発揮します

#### 3.優れた保存特性!

自己放電が少なく、5年以上の長期保存が可能です

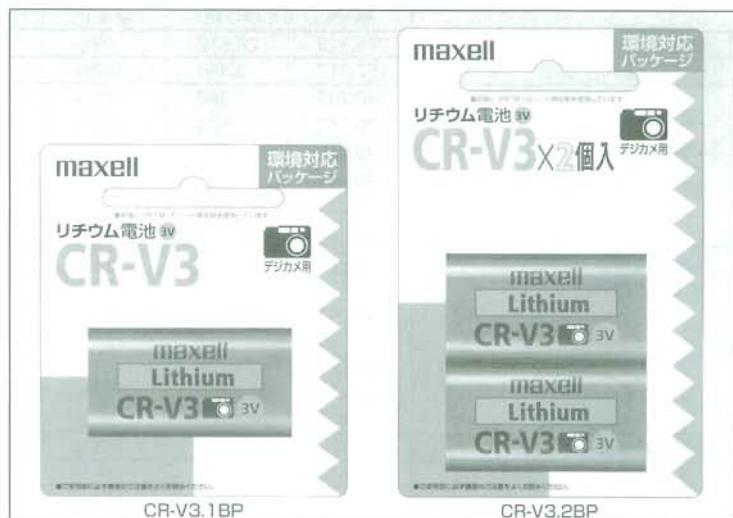
#### 4.単3形電池と互換性があり、しかも軽量!

リチウム電池1個は単3形電池(アルカリ乾電池やニッケル水素電池など)2本と互換性があります  
しかも、ニッケル水素電池2本約54gに対し、リチウム電池1個は約38gで約30%軽量になります

#### 5.環境対応パッケージ!

非塩ビ(PET材)のプリスターカバーと再生紙を使用し、環境に配慮しています

※この電池は、CR-V3・CR-V3Pを推奨している機器でのみ、ご使用ください



## 8月度電池および器具販売実績(機械統計)

(平成13年8月)

単位:数量=千個、金額=百万円

	单 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比
電池・器具総合計	525,396	59,493	91%	86%	4,074,923	469,686	86%	84%
全電池合計	524,449	58,174	91%	86%	4,067,634	457,400	86%	84%
一次電池計	387,597	14,527	97%	100%	2,976,806	105,731	91%	87%
マンガン乾電池計	95,705	2,299	98%	107%	746,197	15,764	86%	81%
単一	14,567	809	128%	134%	83,903	4,468	85%	84%
単二	7,573	287	116%	120%	49,586	1,840	71%	71%
単三	52,202	860	103%	100%	410,763	6,519	94%	86%
その他	21,363	343	73%	75%	201,945	2,937	77%	73%
アルカリ乾電池計	122,338	6,978	99%	104%	897,005	49,628	91%	91%
単三	76,906	3,788	106%	111%	576,202	28,269	98%	101%
単四	25,171	1,318	79%	77%	199,174	10,530	75%	73%
その他	20,261	1,872	107%	117%	121,629	10,829	89%	90%
酸化銀電池	83,990	953	100%	96%	651,275	7,292	102%	92%
リチウム電池	81,375	4,123	89%	92%	650,655	31,626	86%	82%
その他の乾電池	4,189	174	95%	102%	31,674	1,421	100%	94%
二次電池計	136,852	43,647	78%	82%	1,090,828	351,669	74%	83%
鉛電池計	3,672	12,912	89%	95%	28,790	97,324	92%	99%
自動車用	2,132	7,832	100%	96%	15,210	51,930	99%	97%
二輪用	367	697	80%	83%	3,393	6,209	89%	88%
小形シール	953	976	72%	77%	8,213	8,414	79%	82%
その他	220	3,407	102%	102%	1,974	30,771	116%	115%
アルカリ電池計	96,961	11,160	74%	73%	774,755	92,343	68%	70%
完全密閉式	51,726	5,208	95%	87%	360,774	39,087	86%	83%
ニッケル水素	45,217	5,640	59%	63%	413,858	50,685	58%	62%
その他のアルカリ電池	18	312	100%	120%	123	2,571	83%	84%
リチウムイオン電池	36,219	19,575	91%	80%	287,283	162,002	94%	84%
器具計	947	1,319	79%	81%	7,289	12,286	80%	97%
携帯電灯	620	568	86%	87%	4,052	4,078	73%	79%
電池器具	327	751	68%	77%	3,237	8,208	92%	110%

## 8月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(平成13年8月)

単位:数量=千個、金額=百万円(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

	单 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比
全電池合計(輸 出)	275,329	28,612	89%	79%	2,134,012	233,270	79%	77%
一次電池計	157,317	3,435	100%	100%	1,269,279	27,017	89%	86%
マンガン	42,795	380	102%	102%	378,983	3,132	93%	90%
アルカリ	29,742	579	125%	130%	188,890	3,361	80%	82%
酸化銀	33,618	396	116%	110%	273,157	3,407	102%	101%
リチウム	48,842	2,017	87%	92%	407,390	16,513	83%	84%
空気亜鉛	1,931	34	86%	96%	14,238	263	97%	99%
他の一次	391	29	12%	73%	6,621	342	65%	53%
二次電池計	118,012	25,177	77%	77%	864,733	206,254	68%	76%
鉛蓄電池	421	705	63%	79%	4,488	7,312	74%	87%
ニカド	42,943	3,651	95%	89%	284,467	25,802	83%	78%
ニッケル鉄	0	1	200%	86%	223	29	24%	34%
ニッケル水素	36,529	3,671	61%	50%	311,919	37,449	54%	56%
リチウムイオン	27,775	14,880	84%	82%	207,408	119,106	88%	82%
その他の二次	10,343	2,268	79%	99%	56,228	16,555	57%	90%
全電池合計(輸 入)	39,286	3,073	141%	98%	297,940	28,144	113%	106%
一次電池計	36,873	984	164%	158%	267,144	8,432	122%	146%
マンガン	8,905	123	172%	166%	76,407	1,087	112%	114%
アルカリ	25,186	534	163%	148%	173,560	3,614	127%	118%
酸化銀	318	7	777%	325%	2,500	61	622%	342%
リチウム	812	74	64%	128%	7,233	770	79%	111%
空気亜鉛	455	16	198%	143%	2,328	97	99%	102%
他の一次	1,197	229	383%	199%	5,116	2,804	429%	292%
二次電池計	2,414	2,088	45%	83%	30,797	19,712	66%	95%
鉛蓄電池	418	1,203	101%	109%	3,605	9,780	95%	111%
ニカド	1,178	375	99%	54%	8,896	3,170	87%	76%
ニッケル鉄	0	2	2%	24%	8	23	107%	175%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	818	509	22%	71%	18,287	6,740	57%	86%